

しい 実の 実

No.131

令和7年
9月1日発行

岐阜県手をつなぐ育成会 会報

～手をつなぐ育成会は知的障がいのある人とその家族、支援者の会です～

椎の実ギャラリー



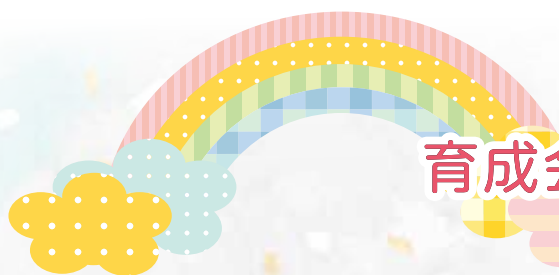
岐阜県中濃特別支援学校 高等部 布加工班の作業製品「織り製品」

131号の主な内容

- 育成会ってなあに
- 大会報告・理事紹介・育成会行事予定
- 親子が育成会と繋がっているわけ
- 地区活動紹介
- わかりやすい制度のおはなし〈相談支援員〉
- 知ってほしい 私たちのこと
- ぎふのいいもの(ひだまり)

淡い色、濃い色、涼しげな色等、一人ひとりが選んださまざまな色と素材で織られた布を加工し、生徒同士が協力して小物に仕上げました。多くの方の目に留まり、手に取ってもらえることを目標にして、丁寧に製品づくりをしています。

表紙の作品募集中！あなたの作品の写真を送ってください。採用された方には、記念品をプレゼント！



育成会ってなあに？

岐阜県手をつなぐ育成会理事長 帆ノ下久美子

噴水湧き出る「水の都大垣市」において令和7年度の総会および記念大会を無事に開催することができました。約1年前から実行委員会を立ち上げ、準備してくださった西濃地区の会員の方々には大変お世話になりました。

『障がいのある人たちの、意思の尊重と権利の擁護』を大会のテーマに掲げ手をつなぐ育成会は活動しています。虐待や差別のない社会はもちろんのこと、知的障がいのある本人の願いがきちんと反映された支援が受けられるよう、個別支援計画などの作成時に十分な意思決定支援が行われるように願っています。そのためにも、まずは身近な相談支援専門員とのコミュニケーションを図っていきましょう。(相談支援についての説明は別のページに掲載しています)

大会のスローガンで育成会の意思として西濃大会でも確認、承認いただいたように『幼少期から高齢まで一貫した支援が受けられる体制の確立』や『障がいのある児童生徒が将来を見据えた教育を受けられること』は会員みんなの願いです。

大垣市では今、福祉と教育の連携に力を入れていると言われていました。

■ 各地に降りそそいだ雨が地下水となり、命の水として湧き出るように、会員の皆さんの力を集結して、親なき後も障がいのある人が安心して暮らせる共生社会を築いていきましょう。



大会報告

第67回 岐阜県手をつなぐ育成会総会及び西濃大会の報告

実行委員長 國井 英明

障がいのある人たちの意志の尊重と権利の擁護



7月5日大垣市にて、第67回岐阜県手をつなぐ育成会総会及び西濃大会を開催いたしました。

参加者全員による手をつなぐ母の斉唱に始まり、式典では19名の方への感謝状・表彰状の贈呈が行われました。続いて大会宣言が満場一致で採択されました。

休憩ののち、総会を開催し、全議案原案通り承認決定いただきました。

総会の後、記念講演として、全国手をつなぐ育成会常務理事兼事務局長「又村あおい」氏より、【親亡き後のお金と住まい】、と題した講演をいただきました。16時無事終了いたしました。



実行委員長として

今回の大会に関し、まず、早朝より大変暑い中をご協力いただいた、ボランティアの皆さま、会員の皆様に厚くお礼申し上げたいと思います。高校生のボランティアの方にも参加していただきました。思いの至らない部分も多く、皆様にご負担をおかけしたことをお詫びいたします。新型コロナウイルス感染症以降社会のあり方が大きく変わってしまい、また、会員の高齢化や減少により、育成会活動が厳しい状況にあることは、まぎれもない事実であると思います。しかし、又村さんの講演にもあったように、障がいのある人本人の意思の確認のために本人参加の会議などが義務付けされた場合、可能なのかと考えさせられるとともに、益々育成会の重要性が増していると思いを強くしました。



令和7年度 理事

〈理事長〉 帆ノ下久美子

〈岐阜地区〉 大谷 弘 岩田 彩子 林 廣隆 塚本 伸子 永田 ルミ 浅野 信治

〈西濃地区〉 近藤 則朗 寸田さつき 宮野 卓二 山室 清香 國井 英明

〈中濃地区〉 田中 眞澄 原田 恵子 村瀬 正樹 坂井由美子

〈東濃地区〉 鵜飼 厚志 松田あさみ 山内 浩康

〈飛騨地区〉 今井 謙治 高木 敦 上坪 道利 黒木 美加 野村 義治

〈施設部会〉 篠田 憲三

〈監事〉 大前 一廣 坂垣内孝幸

飛騨地区新役員紹介

新副理事長
今井 謙治

在宅で作業所に通う息子(50歳)と夫婦で暮らしています。少しでも長く生活できる様
体力維持に励んでいます。

新理事
上坪 道利

県育成会の理事に選任されました、高山市 大野山ゆり園手をつなぐ育成会会長の上
坪道利と申します。

多くの皆様のご理解とご協力に感謝し、謙虚な態度で活動させて頂きたいと思います。

5月28日第1回理事会が開催され、「心のとも」運動実績報告の中で、県下小中学校の
協力状況が提示され、トータルで、526校中122校(23.2%)が協力して頂いてお
り、そのうち高山市は(25.8%)であり、このことは将来を担う児童・生徒たちにもつ
と多く意識を高める必要を強く感じました。

各理事は4つの委員会活動のどこかに所属することになっており「心のとも」促進委
員会で活動することとしました。先ずは、高山地区で第1期に50%・第2期70%・第3
期90%の目標を掲げスピード感を持って活動したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

表彰者

(感謝状贈呈)

益田山ゆり園
清水 徹朗

この度は、育成会岐阜県大会にて、表彰をいた
だき身が引き締まる思いです。

ありがとうございました。

これからも、支援員として利用者の方々が充実
した生活が送られるように精進してまいります。

社会福祉法人 あゆみの家 後藤 悦子

私はあゆみの家で働いて30年になります。この
間、利用者さんはじめ御家族の皆様の温かさに触
れ、この仕事に就くことが出来た喜びを日々感じ
ております。

これからも皆様と一緒にがんばってまいります。

感謝状をお渡ししました。これからもよろしくお願いいたします。

敬称略

益田山ゆり園	清水 徹朗
益田山ゆり園手をつなぐ育成会	高橋 英光
益田山ゆり園手をつなぐ育成会	二村 光子
可茂会 可茂学園	前島恵津子
大野山ゆり園手をつなぐ育成会	上坪 道利
大野山ゆり園手をつなぐ育成会	田屋 忠司
各務原市手をつなぐ育成会	横山美智子
社会福祉法人あゆみの家	大原 里美
社会福祉法人あゆみの家	後藤 悦子
社会福祉法人あゆみの家	説田 仁美
第二陶技学園	今井 紳平
共同生活とうぎ	伊佐治将志
陶技学園みすなみ荘	中川利津子
第一陶技学園	緒方 浩雄
第一陶技学園	木股 誠
第一陶技学園	高橋 典江
第一陶技学園	奥野 明美
第一陶技学園	竹内美智子
第一陶技学園	藤本 幸吉

育成会行事予定

第57回 手をつなぐ育成会東海北陸大会 富山大会

大会スローガン

知的障害のある本人の社会自立に向けて
～知っておきたい、考えたい、始めたい～

開催日／令和7年10月5日(日) 10時～15時30分

会 場／新川文化ホール

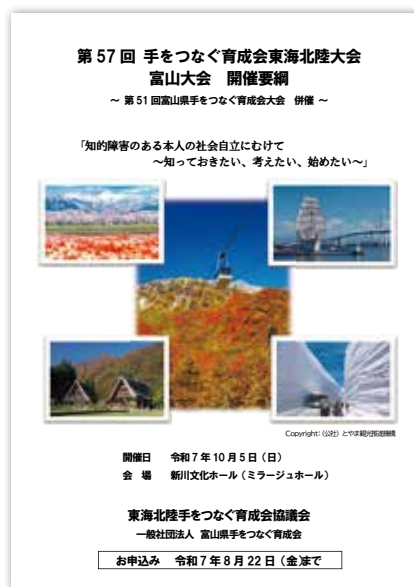
育成会大会 (大ホール)

- 大会式典
- 中央情勢報告
- シンポジウム

「知的障害のある本人の社会自立に向けて
～知っておきたい、考えたい、始めたい～」

本人大会

- ①レクリエーション ②話し合い
(2階展示ホール) (1階リハーサル室)
- わくわくコンサート
- おたのしみちゅうせん会



第10回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 東京大会／本人大会

令和7年11月8日(土)・9日(日) 10時～15時30分

大会スローガン ともに生きる社会を目指して

地区活動紹介 瑞浪市手をつなぐ育成会

5月

5月4・5日

「こいのぼり祭り」は、障がいがある人もない人も楽しんで参加しています。おつりの出せない人は、お客さんに計算してもらいます。お昼時は大行列になります。そんなアットホームな会話で開店します。啓蒙活動も兼ねています。

5月中旬

瑞浪市手をつなぐ育成会総会を開催しています。

5月の第4週の土曜日

ぎふローズガーデンで一日楽しんでできました。入場は手帳所持者と付き添いは無料です。コスプレイベントが面白かったです。バラソフトクリームの美味しいこと。



6月

「土岐イオンに行こう」「温泉に行こう」

心と体にごほうび。働いたお金で好きなものを買います。「ガチャガチャを思う存分楽しむぞ!」の声も。

8月

「瑞浪源氏七夕祭り」を楽しみました。

以前は育成会もバザーに参加していましたが、祭りを楽しむ方向に転換しました。昼間は露天商で食べ歩き、バサラで踊り、夜は花火大会を楽しみました。



10月

「瑞浪市福祉祭りバザーに参加」

障がい者、福祉施設事業所、福祉支援団体、多数参加します。いつもは大声を出さない人もこことばかり元気になります。

「瑞浪市稲津町文化祭バザーに参加」

瑞浪市で一番元気の良い町です。人口も右肩上がり。



11月

「瑞浪市文化祭バザーに参加」

昨年は、「第39回国民文化祭及び第24回全国障害者芸術・文化祭」に瑞浪市が対象となったために、2週4日間のバザー出店となりました。

恒例の「りんご狩り」

台風に伴う雨でしたが、育成会と農園さんが20年のお付き合いもあり、貸切にしてくださいました。松川町で最古の樹齢90年の木から採れるりんごが格別に美味しいです。

12月

「忘年会・クリスマス会」

以前は育成会の作業所で行っていましたが昨年から社協で開宴しています。

2月

「瑞浪市福祉大会に参加」

福祉関係者の社会福祉協議会賞と市長賞の表彰式と講演会に参加。



3月

「なばなの里・イルミネーションに行こう」

恒例となりました。レストランで世界の料理が食べれます。今年は、イタリアンにしようかフレンチにしようか迷いました。イルミネーションを満喫した後は温泉につかり、お土産を買って帰ります。

■障がいのある人が、外に出ることで社会参加し、コミュニケーションの場を提供しています。
■いつでも利用できる安心のネットワークの構築を大切に活動しています。

地区活動紹介 各務原市手をつなぐ育成会

各務原市手をつなぐ障害啓発キャラバン隊



①優しさの輪を広げよう

障害のあるなしに関わらず誰もが安心して暮らしていくためには障害を知りその特性を理解することが大切です。困っている人がいたらちょっとした手助けや配慮をすることで誰もが暮らしやすくなります。公演では皆さんの地域にやさしさの輪が広がるようお手伝いをしています。

②活動のようす

活動の場所は小学校・高校・自治会・民生委員・市民講座・企業など多岐にわたります。子どもから大人まで誰にでも分かりやすい内容になっています。特に小学生には力を入れています。総合の時間の福祉教育に活用してもらいます。

③小学校のプログラムの一部を紹介します。

テーマは「みんな友達になろう」です。

特に反響があるのが以下の三つです。

- 1) 障害のある子と友達になっていく様子を書いた中学生の作文「友達として」
- 2) 話し合ってみようの俳句「きれいな子きっと誰かのだいじな子」
友達への思いやりやそれぞれの人の違いに気付いてくれます。
- 3) 湯浅正太先生の絵本「みんなとおなじくできないよ」
きょうだいのこと友達のことを考えるきっかけになっています。
子どもたちからは終了後たくさんの感想を送ってくれます。
それぞれの子どもたちの心に響いていると思い嬉しくなります。

キャラバン隊の依頼について

講演時間は45分(小中学校) 60分・90分で依頼先に合わせて公演します。
要望は必ずお受けします。岐阜県育成会事務局へ問い合わせして下さい。

わかりやすい制度のおはなし

～相談支援ってなあに？～



相談支援員は

本人・家族の困りごとを聞き、必要な支援につなげる役割の人です。

相談支援専門員は
障害福祉サービスを使っている人には必ず
ついています!!

担当の相談支援員の名前と連絡先を知っていますか？

困ったことがあったとき、一番に相談できて、必要なサービスを提案してくれるのが相談支援員です。

相談員の仕事

●障害福祉サービスの利用計画を立てる

本人・家族の希望、どんな暮らしがしたいかをていねいに聞き取り、どんな支援や施設をどのように利用していくのかという「サービス利用計画」を立てる（半年に一度）。

その利用計画をもとに、作業所、入居施設、グループホームなど利用している事業所ごとに「個別支援計画」がたてられます。

●事業所、学校、病院など必要なところと連携して計画が実現できるように調整を行う。

●計画に沿った支援が提供されているか、半年ごとにモニタリングを行って確認し、利用計画の見直しを行う。

大切なのは
本人らしい暮らしが
実現できるような
計画を立てること

誕生月、半年後に必ず連絡がありますか？

その月には必ず利用計画書やモニタリングにサインを求められるはずです。

その時は、本人の願いが取り入れられているか、しっかり確認しましょう。

もっと、こんな暮らしがしたい、ということがあれば、計画にとりこんでもらうように話しましょう。

サインは同意を表します。サインする前に、納得できるまでしっかり話し合いましょう。

生活の希望は具体的に話しましょう

体重が増えているから、散歩をさせたい。休日には外食に連れて行ってほしい。月に1回は映画を見に行きたい。など具体的な希望を話し、どんな支援が受けられるか相談しましょう。そしてそれを利用計画書にしっかり書いてもらいましょう。



相談支援員は本人が希望する暮らしを実現するためのキーパーソンです。

私の町のきり人 Vol.12

親子が育成会と繋がっているわけ

こんにちは、瑞浪市手をつなぐ育成会事務局の伊藤幸枝です。私はB1手帳所持者です。当時の養護学校卒業後、最初の出会いが会長さんの生活ホームでした。1年後、親元を離れたい一心で職業訓練校の寮に進みそこで職員から思わぬ体罰を受け全身がアザだらけになり半年で逃げ帰る様に後にしました。多くの生徒が辞めていきました。その後の生活は、障がいを持った1人の女性が生きることの難しさを体験して来ました。自分を失い、身も心も傷ついた日々を過ごしました。

そんななか、B1の娘の美幸を授かりました。戻ることの出来ないこれからの生活に不安で押し潰されそうな気持ちを今でも思い出します。子育てを多くの福祉関係者から支えられて暮らしてきました。娘が小学校2年生支援学級の時、2度目の出会いで会長さんの生活ホームに親子共々通うようになりそこで育成会を知りました。優しい会の皆さんとの触れ合いの中で、初めて生きることの楽しさを知ったのでした。同じ悩みや苦しんでいるのは、私だけではないことに気付いたのです。生活ホームでは、会長さんのお手伝いで毎月の様に開かれる行事やバザー活動に参加して地域の皆さんとの繋がりを大切にしてきました。私の育成会への取組から社会福祉協議会賞を頂いたことがきっかけで10年働いたリネン職場の老人介護施設の方からも地域の方からも声を掛けられる多さに嬉しい気持ちで一杯です。瑞浪市長さんからも「伊藤さん頑張っているね」ことあるごとに応援の言葉を頂きます。

私の娘は、お母さんを見て成長してくれた様です。私と同様に娘も決して楽な生活ではなかったでしょう。辛く悲しい時を過ごしてきたと思います。支援学校卒業後A型に通いながらも母と同じ育成会役員の道に進んでくれました。今では、苦しんでいる仲間の相談役となり、私以上に育成会活動に取り組んでいます。娘は、「私と同じように苦しんでいる仲間の助けになりたい。お母さんから生まれて来て本当に良かった」と嬉しい言葉を言ってくれて思わず感情が込み上げてきます。この子を里子に出さなくて本当に良かったと思っています。

亡くなった父親が何時も口癖の様に言っていました。「人との繋がりを持て。必ず助けてくれる」最後になりましたが、親子が育成会と関わるわけ、それは「そとに出て人と繋がりを持つ」喜びが生き甲斐となっているからです。

母から娘へのコメント

お母さんと同じ障がいを持ち誰よりも理解していますよ。何でも話してね。



娘を授かった



生活ホームの料理教室



22歳となった娘と私



三年前に頂いた表彰状

知ってほしい 私たちのこと vol.18

内閣府 令和5年度入賞の作文をご紹介します。(転載の許可をいただいております。)



令和5年度 心の輪を広げる体験作文

【小学生の部】 ◆佳作



「わたしとはるくんとたっくん」 犬山市立犬山西小学校1年(当時) ^{いちほら ゆりの}市原 由莉乃

わたしには、はるくんとたっくんというふたごのおとうとがいます。

はるくんとたっくんには、うまれたときからちてきしょうがいがあります。はるくんとたっくんはいま5さいです。ほんとうは、ねんちゅうさんのとしだけどまだようちえんもほいくえんもいっていません。

はるくんとたっくんは、まだおしゃべりができません。たまにきゅうにないたりすることがあってこまることもあります。なにをつたえたいのかわからないからです。はるくんとたっくんは、ごはんもてでたべるし、といれもいけないのでまだおむつをはいています。できないことがたくさんあるけどすこしずつわかることもふえてきました。

わたしがはるくんとたっくんとをだっこするとたまにはるくんのほうからもぎゅうってしてくれます。そのときわたしは、はるくんのことをかわいいなとおもいます。はるくんとたっくんは、おしゃべりができないけど、うれしいとおもっているのかな。

たっくんは、わたしがいすにすわっているときにとりあっているとすわりにきて、わたしのかおをみてわらいます。きっとたっくんは、こっちをむいてあそんでほしいとおもっているのかな。

はるくんとたっくんは、おしゃべりができないかわりにわらったりないたりしてわたしにきもちをつたえているきがします。はるくんとたっくんがわらってくれるとうれしいし、ないているとどうしたのかなとしんぱいになります。

わたしは、いつもだいじなものをとられたり、わたしのおかしをたべられたりするので、「いやだなあ、たいへんだなあ」とおもいます。でも、このさくぶんではるくんとたっくんのことをいつもよりかんがえてみて、やっぱりかわいいおとうとがいてよかったです。はるくんとたっくんはおしゃべりができないけど、いままでわたしにいろいろなきもちをつたえてくれていたんだなときびきました。

わたしはこれからもかぞくみんなでなかよくくらしたいです。

障害者 110番 研修会のお知らせ

かかみがはら支援学校共催

発達障害とひきこもり (仮題)

講師 井川クリニック院長 井川 典克 先生

日 時 令和7年11月30日(日)

午後1時半～3時

場 所 かかみがはら支援学校 (各務原市)

編集後記



今年も去年同様に猛暑の予想です。朝から『暑い…』が口癖で、冷房が効いた建物から出ると茹るような暑さで参ってしまいます。

そんな中、文句も言わず毎日作業所まで歩いて通う娘には頭が下がる思いです。

人だけでなく植物にも影響が出る猛暑ですが、去年の様な米不足が起きない様に祈るばかりです。 (原田 恵子)



会員募集中

下記の連絡先へ
お問い合わせください

岐阜県手をつなぐ育成会

(事務所開所時間 平日9時～16時)

〒500-8309

岐阜市都通2-2

岐阜市民福祉活動センター 1階

TEL 058-253-8062

FAX 058-254-9210

E-mail ikuseig@alpha.ocn.ne.jp

困りごとなど
お気軽にご相談
ください。



障害のある方向け総合保険

あ！それうちかも
と思った方

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している



賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配



障害のある方とご家族へ

ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型) 2019年創設

- ・病気とケガにしっかり備える
- ・告知不要
- ・障害者手帳不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの

こども傷害保険

権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)



詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

24TX-004230(2024年12月作成) Z012-2411R00



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
URL : <https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

平日10時～16時/土日・祝日・年末年始を除く

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

ぎふのいいもの

岐阜県内の事業所で障害のある人たちがつくっている「いいもの」をご紹介します



農作物・米作作業



喫茶店始めました



ひだまり



「ひだまり」は、平成30年12月1日に定員20名の就労継続支援A型事業所として開所しました。

昨年までは、20名を超える利用者が在籍していました。

今年からは就労継続支援B型事業所として再出発。

休眠地を利用した農産物、衣類の処理作業、弁当事業が中心です。

今年からは、稲作と喫茶店事業に取り組んでいます。弁当販売利用者さんに合わせた取組みを行っています。

早朝から地元市民の憩いの場となっている喫茶店は、連日盛況です。

瑞浪市19号バイパス一色交差点で営業しております。



弁当販売



事業所のコメント

親御さんには、もう少し就労継続支援事業所や仕組みを知っていただきたい。



弁当製造作業

■問い合わせ先

合同会社 ひだまり（生活介護・就労継続支援 B 型）

住所：岐阜県瑞浪市山田町 91 番地

電話：080-9665-2821 FAX：0572-44-9529



この会報は赤い羽根共同募金の配分金によって発行されています。